

シニアハウス長居公園

(株) 長谷工シニアウェルデザイン

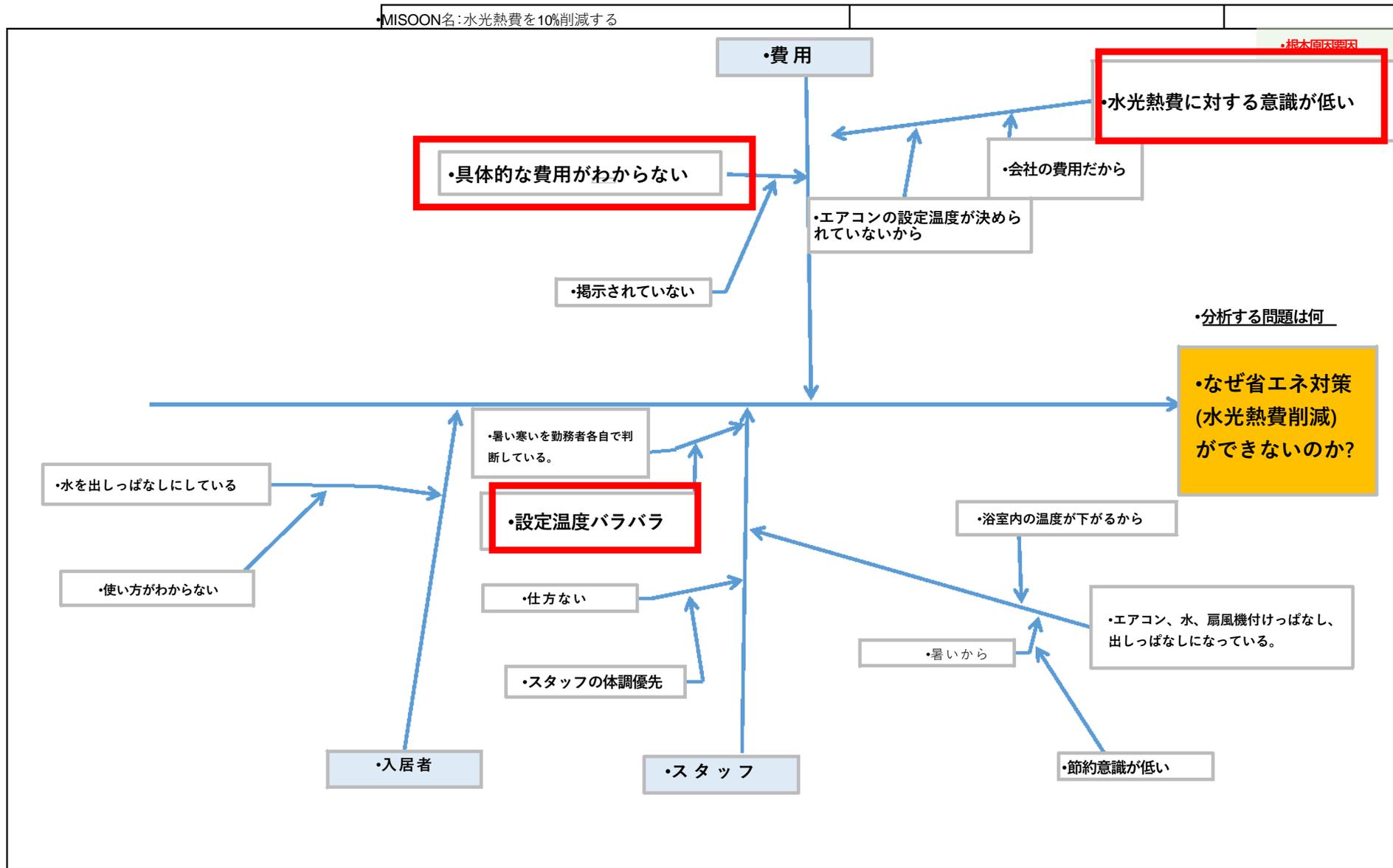
発表タイトル

水光熱費を

前年比10%削減する！

研究の目的

- スタッフの省エネに対する意識が低く、水光熱費が予算超過になることが多い。
- 水光熱費がどれだけ支払われているか、知らないスタッフが多い。



要因解析シートを使用して、問題点の分析をしました。

研究方法

① エアコンの設定温度や
使用する場所を決める。

②浴槽の8分目にテープを貼り、
お湯を出しすぎないようにする。



③水光熱費削減の伝達講習
を行う。

④ スタッフルームやリビング等エアコンを使用する場所に水光熱費削減の意識付けのためのポスターを掲示する。

※次のスライドにポスター写真あります

④意識付けポスター



⑤昨年度と今年度の使用した
水光熱費を比較したものを毎月
掲示し、どれだけ使用したかの
可視化できるようにした。

※次のスライドにポスター写真あります

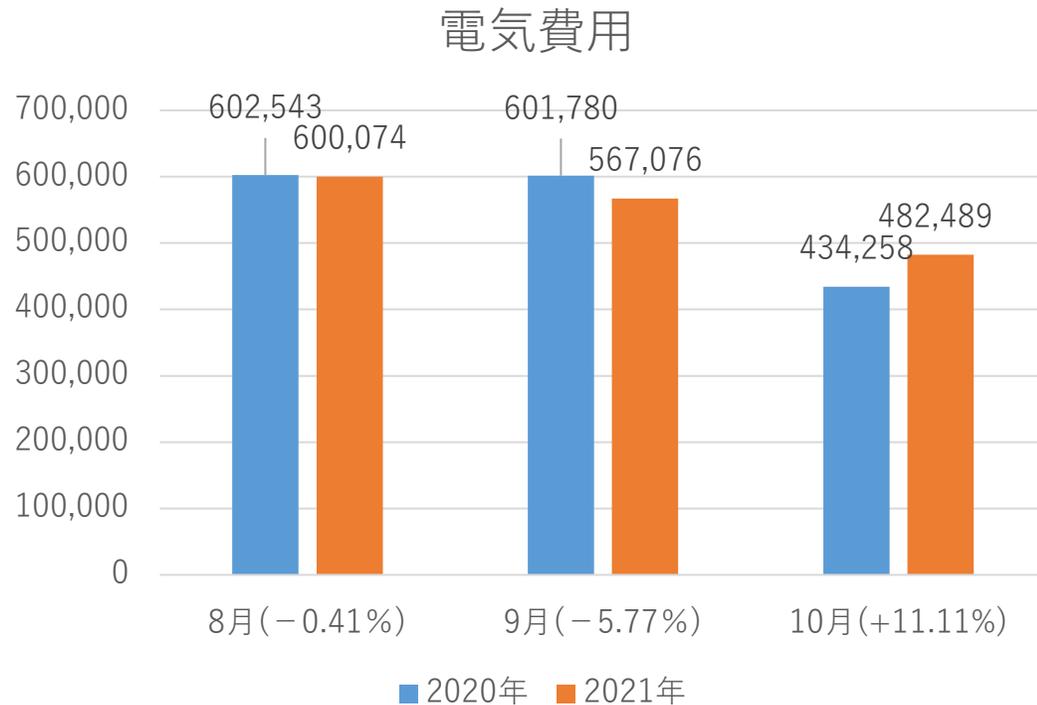
⑤ 昨年比ポスター



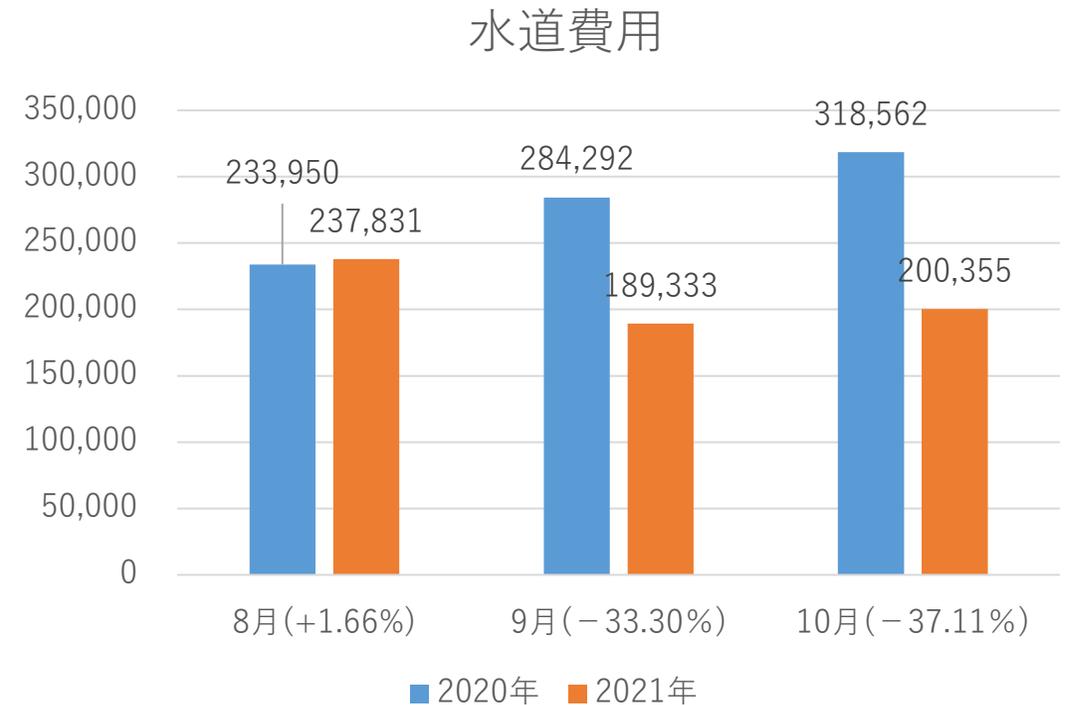
成果・結果

電気 + 水道：前年比 - 8.1%

電気費用：前年比 + 0.67%



水道費用：前年比 - 25.1%



・浴槽にテープを貼り目印をすることで、お湯の出しっぱなしがなくなった。

・水光熱費をどれだけ使用しているのか、目に見える事でスタッフの意識付けができた。

・電気代8月9月はマイナスにはなったが、10月気温の変化で、エアコンの設定温度が決められず、バラバラになってしまった。(電気代は-10%未達成)

・水道代は3か月トータル-25%達成できた。

・水道代2か月-10%達成 ・電気代2か月マイナス達成

・水道代+電気代3か月トータル-8.1%

終了